



令和2年1月31日
海上保安庁

ジブチ沿岸警備隊等と海賊護送訓練等を実施 ～ソマリア沖・アデン湾の安全を目指して～

海上保安庁航空機をジブチ共和国へ派遣してジブチ沿岸警備隊等との間で、ソマリア沖・アデン湾で逮捕した海賊の身柄を我が国に護送する必要がある場合を想定した海賊護送訓練等を実施します。

海上保安庁では、海賊対処のためソマリア沖・アデン湾に派遣される海上自衛隊護衛艦に、海賊事案への対応があった場合の司法警察活動に備え、海上保安官8名が同乗しています。

海賊をはじめとする海の安全を脅かす脅威を排除し、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序を実現することは、地域の平和、安定及び繁栄の礎です。

ジブチでは関係機関との間で海賊護送訓練を実施するほか、海賊対策に係る意見・情報交換を実施します。

1. 派遣航空機

第三管区海上保安本部羽田航空基地所属
ガルフV（うみわし）

全長 29.39メートル

全高 7.89メートル

全幅 28.49メートル

速力 510ノット



2. 派遣国

ジブチ共和国

ジブチ共和国への航空機の派遣は3年ぶり7回目、海賊護送訓練の実施は今回で8回目になります。

3. 派遣者

星 澄男 海上保安監
橋本 昌典 国際刑事課長 外 8 名（関係省庁職員を含む。）

4. 日程等

令和 2 年 2 月 8 日（土）日本出発
9 日（日）ジブチ共和国到着
10 日（月）ジブチ沿岸警備隊等との海賊護送訓練
11 日（火）ジブチ沿岸警備隊等との意見・情報交換
12 日（水）設備・運輸省等との意見・情報交換
13 日（木）ジブチ共和国出発
14 日（金）日本到着

5. 昨年の実施状況※昨年は航空機の派遣なし



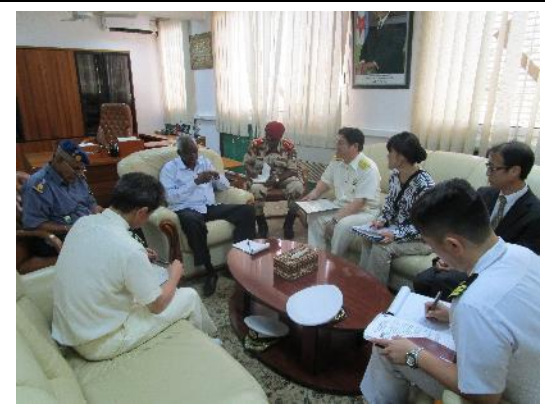
海賊護送訓練（護衛艦から下船）



海賊護送訓練（車両へ護送）



海上保安監による取材対応



国家治安庁との意見・情報交換